

附属札幌中学校「学校だより」

# 藤 房

北海道教育大学  
附属札幌中学校

令和6年6月28日発行

No.4

第1学年 校外学習を終えて

## 「みんなで」を大切に

第1学年主任 山下 彩

あいの里の地域に課題を見いだすために、まずはあいの里を知ろうと活動を始めた校外学習でしたが、大人目線では「うーん、あいの里に通っているのに『知ろう』というのも今さらかも…?」と少し不安に思うところがありました。ところが実際、活動を始めてみると半分以上は公共交通機関を利用しての通学者。JRの駅から長い1本道を歩くか、学校前のバス停を降りる毎日を繰り返しており、当然寄り道もできず、あいの里に通っているものの学校以外のどこにも行ったことのない生徒ばかりでした。あいの里の地図を眺め、知りたいことを設定するときから興味津々で「初めてあいの里歩くね!」などと言いながら、ルート決めをしている様子を見て、心配は杞憂だったとほっとしました。



当日は寒空の下ではありましたが、元気に歩き(車で巡視した私でも10km歩いていたので生徒たちは…)、礼儀正しく地域の方やお店の方、大学に関わる人たちにインタビューをしました。どの場所でもお願いしていた以上の対応で出迎えていただき、地域を知る中には「地域の方々の温かさを知る」ことも入っていたように思います。自分の通う学校がどんな場所にあり、そこに生活している人たちを身近に感じることができました。

そしてあいの里の「藍」。藍染めの体験とともに前日には北区役所から北区の藍に関わる歴史講演をしていただきました。明治に栽培が始まったものの100年も経たずに途絶えた藍の栽培でしたが、様々なところにその名残が残っていることや北区役所が藍栽培の歴史と文化を傳承しようと様々な取組をしていることを知りました。その後に臨んだ藍染め体験、手順はまずまず複雑でてんやわんやの大騒ぎでしたが、染めが終わり布を広げたときのとりどりの美しい模様は圧巻でした。思い出が形としても手元に残り、「藍の里」もより実感できたのではないかと思います。

コロナ禍を経て、校外学習の活動内容を見直した今年度でしたが、こだわったのは「みんなで」同じ時間に同じことをすることでした。活動する中で多くを共有し、他者と比べたり相談したりし合うことで、一体感を深め、お互いを高め合う機会にすることを願い、期待しました。フィールドワークも藍染めも学年レクも、全部みんな一緒に過ごし、入学して初めての



行事を乗り越え、その願いが叶う活動になったと思っています。しかし、この願いはこの一度で終わるものではありません。いつかは「みんなで」から離れて「一人で」活動する力を付けるために、残りの 10 か月、「みんなで」力を合わせ知恵を絞って、立ち足る様々な壁を越えていきましょう。

保護者の皆様には事前の持ち物の準備や当日のお弁当や買い物に関わる御協力、当日の参観など、御力添えいただきましてありがとうございました。引き続き第 79 期生の「みんなで」の活動を応援していただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

## 私たちは、「チーム 79 期生」

### 第 1 学年実行委員長 山下 紗季

「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE (一人はみんなのために、みんなは一人のために)」この言葉はラグビーのチームプレイの精神を表す言葉として知られています。皆が自分の役割に全力を尽くし、誰かのミスは全員でカバーして勝利を目指すのだそうです。

先月の校外学習では、フィールドワークや藍染め体験を通じてあいの里という地域に親しみを持ち、それぞれに設定した課題について調べ、お互いに調べたことを共有して学びや気づきを深め合いました。また、率先して藍染めを進めてくれた AW 係、フィールドワークの計画を中心となって進めてくれた FW 係、みんなの様子や体調に気を配ってくれた生活係、大事な情報が詰まったしおりを作ってくれた広報係、みんなをまとめてくれた総務係。この 5 つの係の一人一人が力を発揮し、足りないところを補い合うことで、お互いを信頼し合うことの大切さを実感し、1 年生全員が一つのチームなのだと感じました。

ご協力いただいた保護者の皆様、先生方、あいの里地域の皆様、本当にありがとうございました。

これからも、私たちチーム 79 期生みんなでスクラムを組んで、より強いチームワークを創りあげていきたいと思っています。

### 第 2 学年 宿泊学習を終えて

## 日常と特別から学ぶこと

### 第 2 学年主任 田口 祐弥

「来年の修学旅行は、先生方から指摘されない行事にしていきたい」

宿泊学習の最後の到着集会で、ある生徒が話した言葉です。当日や準備日程も含めて、宿泊学習での自分たちの姿を振り返り、自分たちで行事を創り上げていこうという決意を表してくれたのだと感じています。頼もしいと思うとともに、1 年後の第 78 期生の成長した姿を見る日を楽しみにしています。

旅行的行事は、通いなれた学校という場を離れ、見知らぬ土地で仲間と食事や宿を共にすることで得られる経験や感動が醍醐味であると感じています。また、その土地の人と出会い、ふれあうことで得られる発見や感動もあり、今回は、総合的な



学習の時間とも関連させ、堺町通り商店街の方々とインタビューや交流をする機会を設けることができたことは大変貴重な体験となったことでしょう。

ここで大切なのは、学校の行事であるということです。日常活動の延長線上にあるものであり、必ずねらいがあります。事前の準備から当日の活動、事後の振り返りにいたるまで、ねらいを達成することを意識していくことが大切になります。

4月に宿泊学習について説明をしてから、生徒も私たち教員も「楽しい宿泊学習にしたい」という願いを共有して、準備活動に臨んでいました。その際、各係では三役が中心となって見通しをもちながら係活動を進め、実行委員会が各係の間を取り持ち調整しながら細やかに準備を進め、それぞれの役割に責任をもって活動していた生徒の姿が大変立派でした。結団式で、楽しい宿泊学習にするために、「誰にとっても楽しい宿泊学習にしたいですね。その『誰』とは、私であり、仲間であり、道行く人であり、ホテルなどの各施設の人であり、ルールやマナーを守り、挨拶や言葉遣いを意識することの意味を考えたいですね。」といったお話をしました。



宿泊学習一日目、インタビューが計画通りに進められなかったり、急な時程の変更があったりしても、臨機応変に行動することができ、交流会ではたくさんの意見をいただいて学びを深めました。二日目の昼、昼食会場で机や椅子を自分たちで準備して片づけをしなければならず、自分にできることを見つけて協力しながら行動していた姿が見られました。二日目の帰りのバスで「宿泊学習、もう終わりですか。延長したいです。」という声を

聞き、彼らにとって「楽しい宿泊学習」になったのだと、ねらいの達成に近づいたのだと実感した瞬間でした。他方で、計画性や協調性の不足、情報共有の甘さが課題として挙げられましたが、学年だよりもそれらの大切さを実感したと述べる生徒がいたことから、宿泊学習のねらいを意識しながら活動してきたという姿と、日常生活をさらに充実させようとする決意を感じました。

宿泊学習という特別な時間では、日常で課題となっていることが浮き彫りとなります。特別な時間があったからこそ気付くことがあり、それを日常に生かし、互いを認め合い、支え合い、刺激し合いながら共に成長していくことを願っています。さらには、これから実施される諸活動や行事を自分たちで創る意識をもって行動することを積み重ね、来年の「さらに楽しい修学旅行」を作り出していくことを期待しています。

最後になりますが、子どもたちが充実した活動をしてこられたのも、保護者の皆様の日頃のご家庭での支えがあつてのこととっております。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、よろしく願いも申し上げます。

## 最高学年に向けて

### 第2学年実行委員長 近藤 帆珠

第78期の宿泊学習は、皆が笑顔で過ごした二日間でした。総合での課題設定をもとに、学びを深化することもできたと思います。

さて、私たちの学年目標は「gear」です。一人一人が一つの歯車となり、協力し合うという意味があるとともに、「gear shift」という言葉があるように、切り替えをしっかりとするという意味もあります。今回の宿泊学習では、この学年目標に対し、成果と課題を見つけることができました。

成果は、協力し合えたところです。自主研修や学年レクでランダムに組まれたチームでも楽しめたことです。普段ではあまり関わりのない人とチームになって協力し、盛り上げることができました。

一方で課題は、切り替えがあまりできなかったことです。朝食前集会や夕食前集会など、学年で集まったときに騒がしくなってしまうことが多々ありました。騒いでしまったせいで、集合時間には間に合っていたのに開始時間が遅れるということもありました。

これらを踏まえ、これからの学校生活では切り替えをできるよう、声掛けや個人の意識を高める必要があると思います。最高学年に向け、学年目標の達成を意識していきたいです。

## ■ 生徒総会

5月31日には、生徒総会が開催され、大変活発に意見が交わされました。本校は全校生徒が委員会・局会に所属し、生徒全員が主体的に、よりよい学校づくりを目指して参画するという特徴があります。今回の総会で、体育館の中で直接交わされた意見をもとに、よりよい活動を目指すとともに、生徒会活動のあり方を先輩から後輩へと受け継ぐ機会にすることを願っています。



## ■ 前期中間テスト終了

6月10日には、今年度最初の定期テストとなる前期中間テストが行われました。特に1年生の皆さんにとっては、小学校のテストとは範囲なども異なり、緊張が大きかったのではないのでしょうか。さて、本校のテストは、各教科における知識・技能や思考力・判断力・表現力などについて、個人の学習の到達度を図るために実施しています。生徒にとっては、自らの成果と課題を把握し、今後の取組に生かすことが目的となります。単純に結果をとらえて「勉強が足りなかった」「ケアレスミスが多かった」という漠然とした振り返りで終わらず、「知識・技能では〇〇の問題ができていなかったから授業では□□を頑張ろう」などと、今後の取組につながる具体的な振り返りを行うことが大切になります。御家庭におかれましても、このような視点でお子様とテストを一緒に振り返っていただければ幸いです。

## ■ 「北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会」

6月4日、北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会（道附P連）がオンラインで行われました。道附P連は、札幌・函館・旭川・釧路の幼・小・中計12団体が、互いのPTA活動について交流する場です。今年度の協議会のテーマは「各学校園での PTA 活動の模索と挑戦について」です。本校からご参加いただいたPTA役員の皆さんが、各学校のPTA活動の特徴や昨年度の本校 PTA の実践を報告しました。交流を通して知り得た他地区の PTA 活動のよさを参考にしながら、よりよいPTA活動につなげたいと思います。



# 7月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1(月)	合唱祭学活(指揮者・伴奏者・自由曲決め)／ミカ・ハスラーさん演奏会	16:20
2(火)	生徒会役員選挙告示／立候補者受付開始	16:20
3(水)	【研究日】D組給食交流	16:20
4(木)	藤華祭 PJ ①	16:20
5(金)	附属小学校教育研究大会(中学校休業日)	
6(土)	部活動可	
7(日)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
8(月)		16:20
9(火)	【職員会議】附属小6年授業見学(3校時)	15:20
10(水)	【研究日】生徒会役員選挙立候補メ切／D組給食交流	16:20
11(木)	藤華祭 PJ ②	16:20
12(金)	3時間後給食／昼)立候補者・責任者説明会／3年総合 FW①	16:20
13(土)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
14(日)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
15(月)	部活動可 海の日	
16(火)		16:20
17(水)	3時間後給食／D組給食交流	16:20
18(木)	藤華祭 PJ ③	16:20
19(金)		16:20
20(土)	部活動可	
21(日)	部活動可	
22(月)	振替休日(7月27日登校の分)	
23(火)		16:20
24(水)	D組給食交流	16:20
25(木)	大掃除 5時間日課	15:20
26(金)	夏季教育研究大会(5時間日課)	15:20
27(土)	夏季休業前集会／前期期末テスト範囲表配付	12:20
28(日)	夏季休業日(~8/27) 部活動不可	